

平櫛田中館 市民に愛されて20年

記念特別展を開催

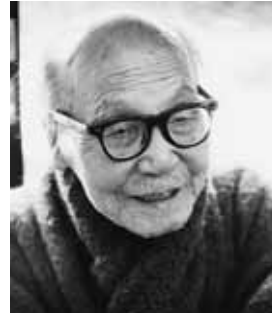


無矣無矣(大分県立芸術会館蔵)

少女が背後に人形を隠して「ないない」をしている様子を表しています。細部まで克明に活写された初期の秀作(明治40年制作)

田中の代表的作品(写真)と最近の調査で発見された名作3点を含む約40点の彫刻作品と関係資料によって、1世紀近い田中の活動を振り返ります。
とき 10月22日(金) 11月23日(火・祝) 午前10時〜午後4時
※会期中は、無休で開館します。
※通常の料金と異なり、()内は団体20人以上。
観覧料 一般:500円(400円)、小・中学生:300円(200円)

開館20周年記念特別展 平櫛田中のすべて 発見された幻の名作を展覧



平櫛田中(明治5年-昭和54年)は、優れた彫刻技術によって数々の名作を残した近代日本を代表する彫刻家です。100歳を超えてからも制作意欲を失わず、向こう30年間制作できるだけの彫刻材を買い求めたという例は世界でもあまりありません。

田中は、107歳で亡くなるまでの晩年の10年間を玉川上水の緑豊かな学園西町の住まいで過ごしました。小平市は田中の優れた業績を顕彰するため、昭和47年に小平市で初めての名誉市民の称号を贈り、昭和59年にその邸宅を記念館として、平櫛田中館を開館しました。

現在、記念館と、平成6年に開館した美術館で、田中の作品とコレクションを公開しています。また、美しい庭園では、四季折々の花や玉川上水の眺めが楽しめます。

20周年記念行事の機会に、平櫛田中館で田中芸術に触れてみませんか。



烏有先生(東京国立博物館蔵)

西洋彫塑の研究成果を示す代表作。作品名は「烏んぞ有らんや」「つまり」「なんでもない」という意味です(大正8年制作)

テレビや本の表紙絵などでも人気を集めている彫刻家・舟越桂さんの記念講演会です。
とき 11月7日(日) 午後2時から
ところ 一橋大学小平国際キャンパス
※駐車場はありません。
費用 無料
定員 100人
申込み 10月2日(土)の

記念講演会

秋のお茶会

美術鑑賞の後、ちよっと

利用案内

開館時間 午前10時〜午後4時(なるべく午後3時30分までに入館してください)
休館日 火曜日(祝日の場合は、その翌日)、年末年始
観覧料 一般:300円(200円)、小・中学生:150円(100円)
※()内は団体20人以上、特別展期間中の観覧料は、別途定めています。
所在地 学園西町二丁目7番5号
交通 西武多摩湖線一橋学園駅から徒歩10分
問合せ 平櫛田中館 ☎042(341)0098

トーク

学芸員が展覧会の見どころや、作品の魅力を解説します。
とき 10月31日(日) 午後1時30分から
ところ 平櫛田中館
解説 当館学芸員
申込み 当日、会場へ

ギャラリー

午前10時から、平櫛田中館へ(電話可、先着順) ☎042(341)0098



禾山笑(東京藝術大学蔵)

田中が上京して間もないころに傾倒した禅僧西禾山の像。大口を開けて大笑いする姿に豪放な性格がよく表されています(大正3年制作)

田中館の思い出

木村肇さん(津田町在住)

平櫛田中館とのかかわりは、20年前に開館してしばらくして、ボランティアとしていろいろなことを手伝いはじめたのがきっかけです。お茶会では、お茶をたてたこともありましたが、今では設営の手伝いにまわっています。開館当時は、学芸員がいなくて、来館者のほうが田中さんや作品に詳しく、いろいろな質問などに対応するため、みんなで作品の内容や、庭園の花の開花時期など、田中館について事細かにメモを作ったことを思い出します。わたしも、自分の仕事の合間に、来館者の対応をしたことがありました。

わたしは、美術に造りが深いわけではありませんが、田中館の特別展に出かけますと、他の人の企画展より、田中さんの作品が印象に残る気がします。田中さんの作品の中では、「気楽坊」の色彩がない作品が気が和んで一番気に入っています。また、記念館のぬれ縁からの庭園などの風景を眺めていると、それだけで気持ちが落ち着きます。



生前の田中さんにはお会いしていませんが、作品を通して田中さんという人を感じています。皆さんもぜひ一度来ていただいて、作品を見てください。きっとまた来たくりますし、作品の良さがわかります。

今回の特別展では、今までに見たことがない作品を見ることができ、また、講演会もあるということで、とても楽しみにしています。

平櫛田中館では、今年の夏休みに、親子を対象とした「美術鑑賞」、「スケッチ会」、「お茶会体験」を開館以来初めて実施し、とても好評でした。

「わくわく発見!親子で美術館」に参加した 上村さん親子(小川東町在住)

公民館にあったチラシを見て、夏休みのイベントに参加してみようと思い、家族4人で参加しました。美術館には、自分たちも見に行きたいし、子どもにも見せたいと思いますが、なかなか行く機会がないので、今回のように何かイベントがあると行きやすいですね。

田中さんの作品は少し難しいですが、説明をしてもらってよくわかりました。配布されたワークシートのクイズも楽しく、とても印象に残りました。よいアイデアですね。田中さんの人柄がよくわかりました。

スケッチの時間には、作品をじっくり見て、作品からわいてくるイメージを描きました。それはとても新鮮な体験でした。子どもたちは、「新春」という子犬の作品がかわいいととても気に入って、スケッチしていました。最後に講師の先生に作品の感想を述べていただきましたが、こんな機会もなかなかないのでよかったです。

お茶会では、みんなでお茶をおいしくいただきました。また、参加したいと思えます。

